

## 令和6年度 第2回 学校運営協議会 議事録

- 1 期 日 令和6年9月28日(土) 14:30~15:26
- 2 場 所 金ケ崎町中央生涯学習推進センター 会議室
- 3 出席者(敬称略)  
小澤 賢 佐藤 和重 大森 啓睦 小山 智弘 小原 拓也 有住 龍星  
三森 健 佐々木順一 照井真由美 後藤 裕介 千葉 一弘(書記)

### 4 次 第

- (1) 開会のことば
- (2) 校長あいさつ
- (3) 会長あいさつ
- (4) 協議
- (5) 意見交換
- (6) その他
- (7) 閉会のことば

### 5 協議・意見交換の概要

#### ■ 2年生課題研究中間発表会講評

##### 【委員】

- ・中間発表ということで、まとめの部分がまだまだである。が、高校生らしい切り口でやっているな、と感じた。
- ・スマホを見ながら解説している生徒が目立った。相手にもものを伝えるときにスマホばかり見ていると印象がよくない。何も見ないのが一番良いが、せめて紙資料を見て説明した方がよい。
- ・Iグループの生徒の話し方が上手であった。きちきちとしたまとめ方や仕草が素晴らしい。
- ・金ケ崎の魅力を伝えるグループは、高校生であるため行動範囲が限られているからなのか、見方が狭い。地元の方と話をする機会があれば魅力発信になる。金ケ崎のイベントにいっぱい参加しているが、深みがない。あまり知られていない金ケ崎の深みや歴史を深めてほしいと思った。

##### 【委員】

- ・研究内容はどのグループもそれぞれすごいと思うが、プレゼンの仕方がよくないともったいない。Iグループの生徒について、事前準備と作戦会議をされたのだろうか、身振りや手振り、視線を合わせるタイミングがよかった。研究内容とは別に伝え方がよかった。

##### 【委員】

- ・DとHの発表を見学した。
- ・Dのスマホ利用についての発表は、質問したことに対して、生徒が理解して考えて、何も見ないで受け答えができていた。最終発表の時になるとうまくなっていると思う。答えてくれた内容もよかった。
- ・中学校でのアンケートの結果を入れるとどうなるのか、ということ聞いたが、「中学校にアンケートを取りたかったが、許可が下りなかった」と話していた。声をかけてくれれば中学校で対応したい。
- ・Hの読書と学習の関係についての発表は、暗記という視点で発表していた。学力=暗記ととらえていたのが残念であった。

- ・発表の仕方について、今回のような距離感であれば、パソコンやタブレットを利用すれば画面を見ながらできていたのではないかと感じ、中学生にもこの発表を見せて、パソコンやタブレットを上手に使っている先輩の姿を見せるとこうなりたいと感じ、受験者数増加につながるのではないかと感じ。

【委員】

- ・DとHの発表を見学した。
- ・研究内容の枝が少ない。結果を決めつけてしまっているため、深みがない。表面をなぞった感じである。
- ・発表について、独り言のように話すのではなく、自信をもって伝えてほしい。プレゼントについては、どこまでを目指すのかによるが、農業高校のプロジェクト発表会に、発表技術を見るために参加してもよいと思う。これからの研究がいろいろ深まったり、伝え方が上手になったりすると思う。

【委員】

- ・HとJの発表を見学した。
- ・Jについて、今後の予定を聞いたら、生徒がイベントに参加するということがあった。参加することで魅力が伝えられるのか。
- ・Hについて、学力が暗記、ということに目線が行っている。社会人になるには学力には「考える力」も必要かなと思う。

【委員】

- ・総探の時間の活動と普段の課外活動との違いを考えてほしい。研究の流れがあってこそその探究。もうちょっと先行研究の調査をしっかりした方がよい。
- ・Hについて、学力のどの分野を上げたいのかを絞れて来るとよいと思う。
- ・よい発表のイメージは先生たちにもあると思うが、生徒は知らない、イメージができていない。大学生の発表等良いものを見に行く、というのは深みを持たせるためには良いと思う。

■授業評価と高校魅力化評価

- ・副校長より資料説明。

【委員】

- ・「25.興味を持ったことに対してすぐに橋渡しをしてくれる大人がいる」について、そのように感じてもらっている生徒が多いのはうれしい。
- ・「この学校を中学生におすすめできる」の項目の前年度と比べてかなり下がっている、というのは何が原因で下がっているのか。生徒数が少ないことがお勧めできないということなのだろうか。生徒にしっかりと向き合ってくれていれば良い学校なのではないかと思う。

【委員】

- ・ここまで下がる（前年度比-26.3%）と何らかの原因があると思う。生徒数が少ないと逆に手厚くかわれるのでそちらを学校の売りにしてもよいと思う。

【委員】

- ・生徒数が減ると行事や部活が成り立たなくなる。生徒たちに質の良い教育が還元できなくなることへの不安から下がっているとも考えられる。

【委員】

- ・進路選択について、金ヶ崎は、交通の便が良すぎるから中学生の進路選択の幅が広がる。周りからも集まってきてよい立地条件である。魅力があれば集まってくる、という点から言うと、良いことや

っているのであればいろんな人に知ってほしい。いろいろなことについてプレスリリースをして、取材に来てくれればよい。町の広報に載れば、町内の人にやっていることを知ってもらえる。いろんな人にアピールしてもらえ。ボランティアを頑張っているということは聞いているが、目にする機会がない。広報や新聞に取り上げてもらえれば生徒や町の人にも伝わるのでは。

【委員】

- ・私の子供は、前沢から金ケ崎に通っている。金ケ崎に決めた理由は兄弟姉妹の話からが大きい。
- ・子供たちにとって一番影響があるのは兄弟や友達。魅力の伝え方を考えればよいのではないか。
- ・少人数が一番の魅力。それを伝える、ということが良いのではないか。手厚くやってくれることを伝えてもらえると良いと思う。

【委員】

- ・知名度や魅力発信がヒントか。生徒がやっていることは良いことをやっている。表にアピールして中学生も一緒にやりたい、と感じてくれるとアピールになる。

【学校】

- ・委員の方々の意見は、参考になる。
- ・魅力化の伝え方が内に閉じている状態になっているかもしれない。外にアピールできるきっかけは、まだあると思う。思いついたものがあれば、会議だけでなく、随時ご意見いただければと思う。

■意見交換

【学校】

- ・県教委で行われている魅力化会議があるが、外部の方は、「岩手県の高校はどこも同じだ」と言っている。総合探究の充実は、もう魅力化の手段にならない。学校の魅力化は学校の差別化である。教育課程で違いが出ると思う。思い付きのようなものであっても何かご意見があればお願いしたい。

【学校】

- ・北海道は県立だけでなく、町立の学校もある。県立のレベルでどの程度できるかわからないが、こういうことを勉強できるようなカリキュラムにできないか、ということでも教えていただけるとありがたい。

【委員】

- ・中学校での進路指導が本格化する。特別支援学級の生徒が普通高校を考えている。また、普通学級の中にも特別支援的な生徒がいる。特別支援の生徒の選択肢となるようになると、近隣地区からの志願者も増えるのではないか。

■その他

【学校】

- ・来月から、奥州FMの高校生のラジオ番組「Oshu ティーンズ!!」で金ケ崎高校の生徒が担当する。10/6から12月まで。内容は高校の内容や自分の趣味等完全にフリーな内容である。

6 次回開催予定

- ・第3回協議会・・・2月4日（火）午後を予定。

以上